

## 優秀賞



設計者

# 水上 哲也

東京建築士会、水上哲也建築設計事務所一級建築士事務所

複合商業施設

宮崎県日南市

## 日南市油津商店街 多世代交流モール

構造・階数

鉄骨造  
地上2階

敷地面積

1,390㎡

建築面積

1,009㎡

延床面積

1,101㎡  
(改修対象664㎡)

竣工

平成27年11月7日



A



B

### 選評

地方都市の衰退しつつあるアーケード商店街再生の起爆剤として計画されたプロジェクトである。往時は繁栄していた商店街も時代の流れとともにその長さも短くなり、また建ち並んでいた商店も歯抜けとなり、アーケードに面したファサードからは部分的に青空が覗けるようになる。そんな商店街を象徴するかのよう、すでに何年間も閉鎖されたままになっていた旧スーパーマーケットの巨大な建物のリノベーションが本計画である。

その旧スーパーマーケットの立面は長さ60mあり、商店街に面するファサードとしてはスケールオーバーである。設計者はその立面の中央に屋外空間としてのヴォイドを挿入し、一つの大きすぎる建物であったものを、二つの建物とその中央には屋外モールの空間を配置することで三つの空間へと変化させた。

右側のブロックには飲食店を6店舗配置し、屋内、屋外ともに客席は自由に着席できる形式であり、アジアの都市にあるナイトマーケットやフードコートのようなカジュアルな形式をとりながら、

現代の空間として効果的にデザインされている。左側のブロックは情報発信やNPOの拠点として、多目的に使用できるように計画されており、右側のブロックの飲食空間がもたらす賑わいと、うまく対応している。

このモールの屋外空間が商店街に挿入され、商店街の流れと直行方向に光や風、それに商店街の外部に広がる都市の雰囲気、それがアーケード内部に流入するようになったことで、これまでは単に商店街の歯抜けに過ぎなかった空気が積極的に意味を持つようになり、児童の遊び場として整備されたりすることで、直線に過ぎなかったアーケード商店街が左右方向に広がりを持ち始め、新しい入居者も増え始めた。聞く。

一つの小さなプロジェクトが商店街全体の在り方を変える力を持っていること、言い換えると一つの建築が都市さえも変えることができるという点を改めて思い知らせてくれた作品であることを評価し、顕彰する次第である。

(岸 和郎)



C



D



E

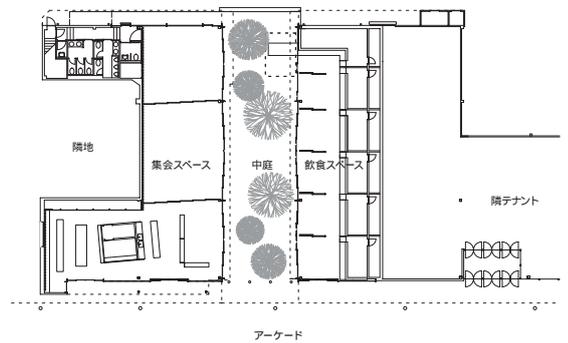


F

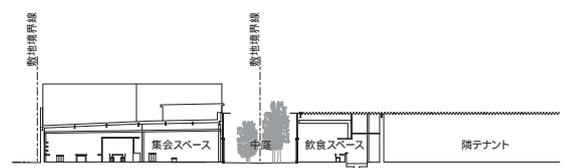
- A 集会スペースから中庭、飲食スペースを見る
  - B 集会スペース内部。手前はキッズスペース
  - C アーケードから施設を見る。左が集会スペース、中央が中庭、右が飲食スペース
  - D アーケードと施設を見る。夕景
  - E 飲食スペースを見る
  - F 改修前の既存建物
- 写真撮影...鈴木研一



2階平面図



1階平面図



東西断面図

平面図・断面図